

認知症介護 研究・研修 東京センター

2010 年報

社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター



2010 年度
認知症介護研究・研修
東京センター

年報

序にかえて

2010年度年報をお届けする。今年は地域包括ケアに関する話題が様々な形で取り上げられた。地域包括ケアは決して新しい考え方ではなく、認知症ケアについて言えば、ごくあたり前の考え方である。認知症の代表的な原因疾患であるアルツハイマー病の人は数年単位の経過でみれば必ず悪化方向にすべての機能が変化していく。このような特徴の疾患をもっている人に対する医療やケアの目標は生活をサポートすることであることを考えれば、地域包括ケアという視点は遅きに失したといっても過言ではないであろう。当センターの研究活動の一環として行われた「全国の市区町村における官民産学が協働した認知症地域支援体制づくりの着実な展開に向けた総合的推進に関する調査研究事業」および「認知症介護従事者研修のあり方の検討」などは地域包括ケアを推進するために大きな役割を果たすはずである。

もう1点、地域包括ケアを推進する上で大きな課題が医療とケアのコミュニケーションの不足をあげてもいいであろう。古くて新しい課題である。近年、国が積極的に施策を推進していることもあり、一部の地域では関係者一丸となった地域作りが進められつつある。医療とケアのコミュニケーションも地域包括ケアを進めて実現していく上では欠かすことができない。東京センターにおいても関わらなければならない大きな課題である。

さらに、研修事業が始まりおよそ10年が経つが、その中心的な事業である認知症介護指導者養成研修を含む認知症介護実践者等養成事業の見直しが21年度より進められている。いくつかの課題が指摘されているが、そのなかの1つに介護支援専門員を含む在宅ケア従事者が研修を受講しにくいという点がある。来年度には地域包括ケアに即した研修体制を整備するとともに認知症ケアの理念に一步でも近づける研修体制と内容の実現を目指して、実践的な研究を行い、その成果を現場にフィードバックしつつ、課題に取り組んでいきたい。

各位の忌憚のないご意見、ご批判をお願いする次第である。



平成23年12月
認知症介護研究・研修東京センター
センター長 本間 昭

序にかえて …………… 3

Ⅰ 研究活動

1. 研究活動の概要 …………… 8
2. 2010年度の研究事業成果報告 …………… 9
 - 1) 高齢者の認知機能維持, あるいは認知機能の進行性低下に影響する生活習慣,
介護予防意識の調査研究事業 …………… 9
 - 2) 全国の市区町村における官民産学が協働した認知症地域支援体制づくりの着実な展開に
むけた総合的推進に関する調査研究事業 …………… 11
 - 3) 認知症介護従事者研修のあり方の検討－認知症介護実践者等養成事業の社会的意義と
課題－ …………… 13
 - 4) 認知症地域包括ケアのあり方に関する研究事業 …………… 15
 - 5) 認知症高齢者の家族と医療の連携促進事業 …………… 17

Ⅱ 研修活動

1. 研修活動の概要 …………… 20
2. 認知症介護指導者養成研修事業 …………… 21
 - 1) 2010年度カリキュラム概要 …………… 26
 - 2) 2010年度カリキュラムの評価 …………… 27
 - 3) 認知症介護指導者フォローアップ研修 …………… 28
3. ユニットケア研修事業報告 …………… 31
4. 認知症の人のためのケアマネジメント推進事業 …………… 33

Ⅲ その他の事業

1. 2009年度東京センター研究成果報告会開催報告 …………… 36
2. 平成22年度東京センター啓発講演会 …………… 37
3. 認知症介護研究・研修センター 設立10周年記念公開講座「2025年の認知症ケア」 …………… 38

Ⅳ スタッフ紹介 …………… 40

Ⅴ 運営部活動報告

1. 事業実践記報告 …………… 46
2. 2010年度東京センター活動一覧 …………… 48